



# こんにちは、岡田よしひでです

2024年11月10日発行  
県議会活動報告ニュース  
NO.230

自宅 南国市浜改田 430-1  
TEL/FAX 865-2932  
携帯 090-4337-4527

岡田よしひで事務所 864-2426 南国市駅前町 2-5-11 県議会共産党控室 823-9524 高知市丸ノ内 1-2-20

## 自・公の過半数割れで 与野党伯仲の国会に

総選挙全体の結果は、自民・公明が衆議院で過半数割れという歴史的な結果となりました。政治とカネの問題で、国民の厳しい審判が下りました。さらに改憲勢力が、自民、公明、維新、国民、保守、参政の6党合わせても287議席となり、衆議院の総定数の3分の2である310議席を下回り、現状では衆議院での改憲発議ができないという状況をつくりました。この結果が出るうえで共産党が発行する「しんぶん赤旗」が大きな役割を果たしました。とくに「(自民党の)非公認候補に政党助成金か



憲法公布78周年県民のつどい (11月3日)

ら2000万円」というスクープが決定打となりました。ある人は「この選挙は赤旗(裏金スクープ)に始まり赤旗(2千万円スクープ)に終わった」とまでのべています。

現在の情勢は、自民党政治に代わる新しい政治を模索し、探求する新しい政治プロセスが始まった、と捉えることができます。まず企業・団体の献金の禁止が重要なテーマとなります。選択的夫婦別姓の実現、学費値下げ、紙の健康保険証を残すのかどうか、さらに軍拡増税をどうするかという問題などが今後の政治の大きなテーマとなります。国会の力関係の変化により、閣議決定だけで押し通すことはできなくなり、国民の願いが実現できる可能性が高くなりました。新しい政治の流れを前に進めつつ公約実現にがんばります。

## 憲法公布78周年 県民のつどい

戦争の記憶に学び、平和憲法を活かす、憲法公布78周年 県民のつどいが3日、こうち男女共同参画センター・ソールで開かれ、私も参加しました。立命館大学客員研究員・国際平和ミュージアム専門委員の山根和代さんが海外ではどう戦争に学び、

平和構築のために取り組んでいるか、平和の価値を実現する条件や過程を科学的に探求する学問である平和学の立場から紹介。憲法9条を海外に知らせることや、平和教育の重要性をうたえました。

続いて平和資料館「草の家」副館長・戦争遺跡保存全国ネットワーク共同代表の出原恵三さんが、戦後の価値観であった恒久平和主義が揺らぎ、戦争準備が進められているもとので、戦争の「生き証人」である戦争遺跡から学び、平和の語り部として保存し、活かしていく叡智が求められていると語りました。主催はこうち九条の会・女性「九条の会」高知。

## おむすび通信 (230)

地元の八松  
防災会は3日、  
津波避難訓練  
を行い、23人  
が参加しまし  
た。避難タワー  
で防風・雨よ  
けシートを設  
置し、備蓄品  
を確認。トイ  
レも実際に  
作ってみると  
いかんねえと意見交換しました。

